

第 1 回学校運営協議会 議事録

令和 8 年 6 月 24 日（水）10 時 00 分～11 時 50 分

1. 議題

- （１）学校運営協議会の運営について
- （２）学校経営計画について
- （３）進路状況について
- （４）授業見学及び指導に関する協議
- （５）学校教育自己診断に関する検討
- （６）働き方改革及び ICT 活用について

2. 協議内容

- （１）学校運営協議会の運営について

大阪府の実施要綱に基づき、本協議会の運営方法及び傍聴要領について確認された。傍聴者はなしであった。
委員 6 分の 5 の出席により、本協議会は成立となった。

- （２）学校経営計画について

学校の最上位目標として「学びあい・認めあい・支えあい、みんなが主役として輝ける学校」を掲げ、以下の 3 点を柱として取り組むことが説明された。

- ・支援教育力の向上（吹田まなびスタンダードの実践）
- ・キャリア教育の充実（小中高の系統的指導）
- ・安全・安心な学校づくり（人権教育・防災体制）

また、ICT 活用による業務改善と教育の質向上の両立を図る方針が示された。

- （３）進路状況について

前年度卒業生 35 名の進路状況について報告があった。企業就職 5 名、職業能力開発校 1 名、その他は自立訓練や福祉サービスの利用が中心であり、個々の実態に応じた進路選択が行われていることが確認された。

- （４）授業見学及び指導に関する協議

中学部の授業見学を実施し、生徒が主体的に参加する様子や、肯定的な声かけによる自己肯定感の向上が評価された。

（５）学校教育自己診断に関する検討

進路に関する設問において肯定的回答が約 57%にとどまり、特に小学部・中学部で「わからない」と回答する割合が高い状況が報告された。回答率の低さや設問内容の在り方についても課題が共有された。

キャリア教育については、児童生徒が将来について具体的にイメージできるよう、実体験や日常の学びとの関連付けが重要であるとの意見があった。

学校教育自己診断の数値については、設問の文言の工夫が必要であるとの意見があった。

（６）働き方改革及び ICT 活用について

校務支援システムの導入状況や教材共有の取り組みについて報告があった。ICT 活用は進んでいるものの、運用面での負担や習熟の課題があり、段階的な改善が必要であることが確認された。

働き方改革については、教材作成の効率化および負担軽減、ICT の効果的活用の必要性が共有された。

５．主な意見・質疑応答

- ・人権を意識した指導や児童生徒の呼称について、学校間でも課題が共通しているとの意見があった。

６．決定事項

- ・令和 8 年度学校経営計画について了承された。
- ・吹田まなびスタンダードの実践を年度重点として進めることが確認された。

７．今後の課題・方向性

- ・授業改善およびキャリア教育の充実と進路理解の向上
- ・人権尊重を基盤とした指導の徹底
- ・ICT 活用の定着と業務改善の推進

８．次回予定

第 2 回 令和 8 年 12 月 9 日

第 3 回 令和 9 年 2 月 3 日